

## 第2回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成25年6月27日（木）
2. 出席者 江原武一委員、菅谷文則委員、仲川順子委員、前原金一委員、森雅彦委員  
長友学長、生田理事（教育）、宮崎理事（総務）、伊豆蔵副学長（企画）、中谷副学長（研究）  
陪席者 加藤副学長（国際交流・地域連携）

### 3. 議 題

#### ◎審議事項

- 1 平成24事業年度決算（財務諸表等）について（案）（資料1）
- 2 平成26年度概算要求について（資料2）
- 3 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料3-1、-2）
- 4 学則の一部改正について（資料4）
- 5 人事交流者における給与減額措置への対応について（資料5）
- 6 早期退職募集制度の導入について（資料6）

#### ◎報告事項

- 1 ミッションの再定義及び国立大学協会総会、日本教育大学協会評議員会等について（資料7）
- 2 Tablet PC等を活用した教員養成カリキュラム開発プロジェクトに関する奈良教育大学と富士通株式会社との協定締結について（資料8）

### 4. 議 事

#### ◎審議事項

- 1 平成24事業年度決算（財務諸表等）について（案）  
総務担当理事から資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- 2 平成26年度概算要求について  
総務担当理事から資料2に基づき、特別経費事項（プロジェクト、基盤的設備等整備分）について説明があり、審議の結果、方向性が了承された。  
教育研究組織の再編統合を見据えた構想プロジェクト調査費の要求については、学長に取扱いを一任することとなった。  
総務担当理事から資料2に基づき、施設整備事業等の要求について報告があった。
- 3 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について  
教育担当理事から資料3-1、3-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。  
主な意見は以下のとおり。  
○海外の大学との連携、協定事業について、より詳細な内容を記載してみてはどうか。  
○学生に対する英語教育に関する記載がない。  
○インターナショナルスクールをもっと地方にも創ればどうか、との議論がある。附属学校に1クラス、インターナショナルスクールと連携して創ってみてはどうか。
- 4 学則の一部改正について  
学長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- 5 人事交流者における給与減額措置への対応について

総務担当理事から資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり対応を行うことが了承された。

6 早期退職募集制度の導入について

総務担当理事から資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり対応を行うことが了承された。

◎報告事項

- 1 ミッションの再定義及び国立大学協会総会、日本教育大学協会評議員会等について  
学長から資料7に基づき報告があった。
- 2 Tablet PC等を活用した教員養成カリキュラム開発プロジェクトに関する奈良教育大学と富士通株式会社との協定締結について  
教育担当理事から資料8に基づき報告があった。  
主な意見は以下のとおり。
  - コンテンツを充実させる事が大切。
  - 奈良県内に全校生徒数7～8人の学校が多数あることから、それらを取り込み、今までの僻地教育とは違う教員養成大学の特色をだした新しいミッションを打ち出してみてもどうか。